

愛スル者タチ

シアワセのカタチ vol.2





寒いなあというと、
あったかいココアにマシュマロをいれてくれる。

誰かと、あったかい気持ちを繋ぐことって
他の何にも代えがたい、大切なことなんだよ。



自立した女性を
少女にできるのが
本当のジェントルマン。



毎日、わたしからあなたへの
ラブレター。



「今日、どうだった？」

「うまくいった！」

ちいさく私もガッツポーズをする。



時にはだまって、一人になる勇氣。

小さな勇者。
大きなハート。



自分を守るエゴなのか

本当に愛しているのか。

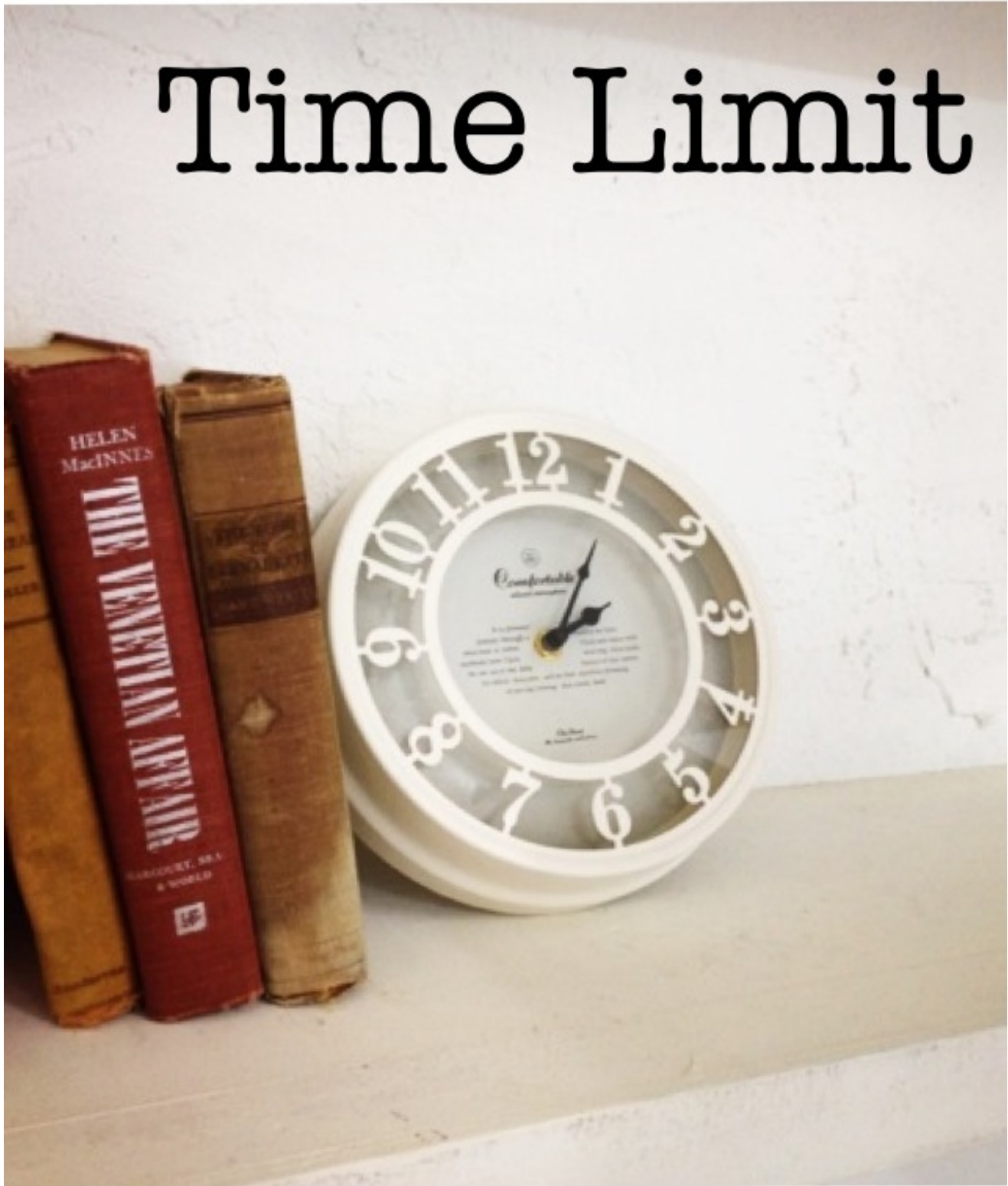
結局一生

答えはでないだろう。

それでも

愛おしいと思う気持ちは
本物。

Time Limit



「タイミングがわるかったね。」

「別にわたしじゃなくてもいいじゃん」

「どうして分かってくれないの？」

別れる理由なんて、いくらでもある。

結局それらは全て
「自分の弱さ」からくる「言い訳」だった。



「もう少し、自分の生きる意味でいて欲しい」

そう言われたあの日。
あなたがココにいてくれる以上の
何もいらなかった。



例えば

お金がなくても
仕事がなくとも
夢がなくとも

「一緒にいよう」

そう思える幸せ。



今までバラバラだった2つが
1組になった時
「ペア」っていう単位を使う。

1 ペア



wild roseがすぎ。



Someday

【いつか】って話してた未来は
意外にすぐだったりする。



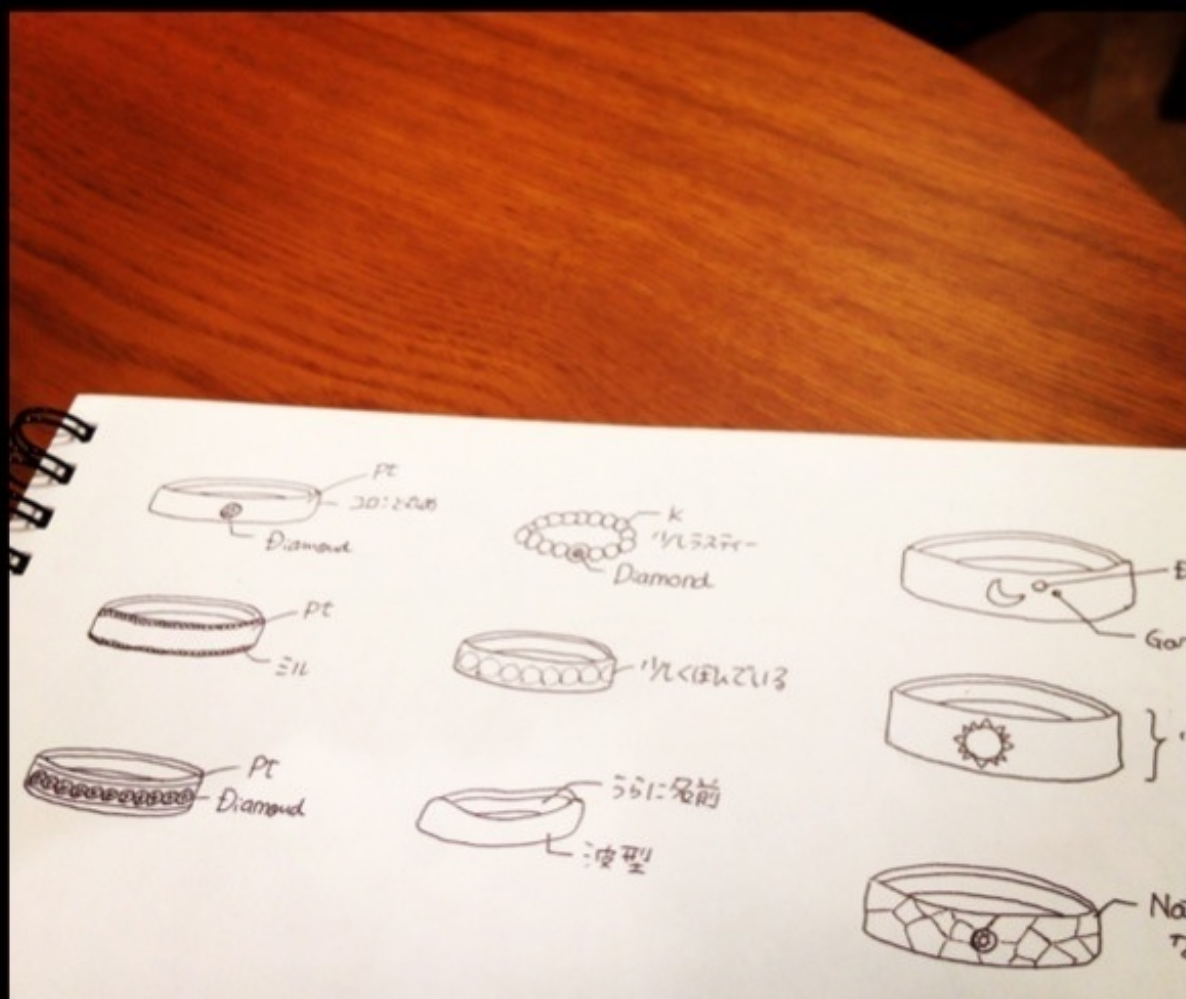
愛スルってことは
こんなにあっただかい。

Warmth



むずかしいよね。
相手のことを考えるって。

Rings ♡



マリッジリングには

太陽と月を載せることにしました。

明るい時は太陽が
暗くなっても月が
行く先を照らすように。





肩書きや、持ち物や身分を捨て去っても
わたしは彼を選ぶと思う。
わたしが好きなのは『彼』だから。

Fake



愛される方法
好かれる行動

そんなもの、ぜんぶどこかに
置いて来てしまった。



Today

今日は明日へ続く道。

何があっても、いっしょにいようね。
いっしょにいないとダメだからね。



Future

明日は信じるもの。

未来は創るもの。



ずっとずっと。

あなたと、あなたの大切なひとの

あったかい関係が続きますように。

おしまい。

愛スル者たち ～シアワセのカたち vol.3～

<http://p.booklog.jp/book/66806>

著者 : yumix0513

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yumix0513/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/66806>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/66806>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ